

### 連結業績サマリー | 第3四半期 | 2023.4 - 2023.12 (累計)

#### 国内金融事業

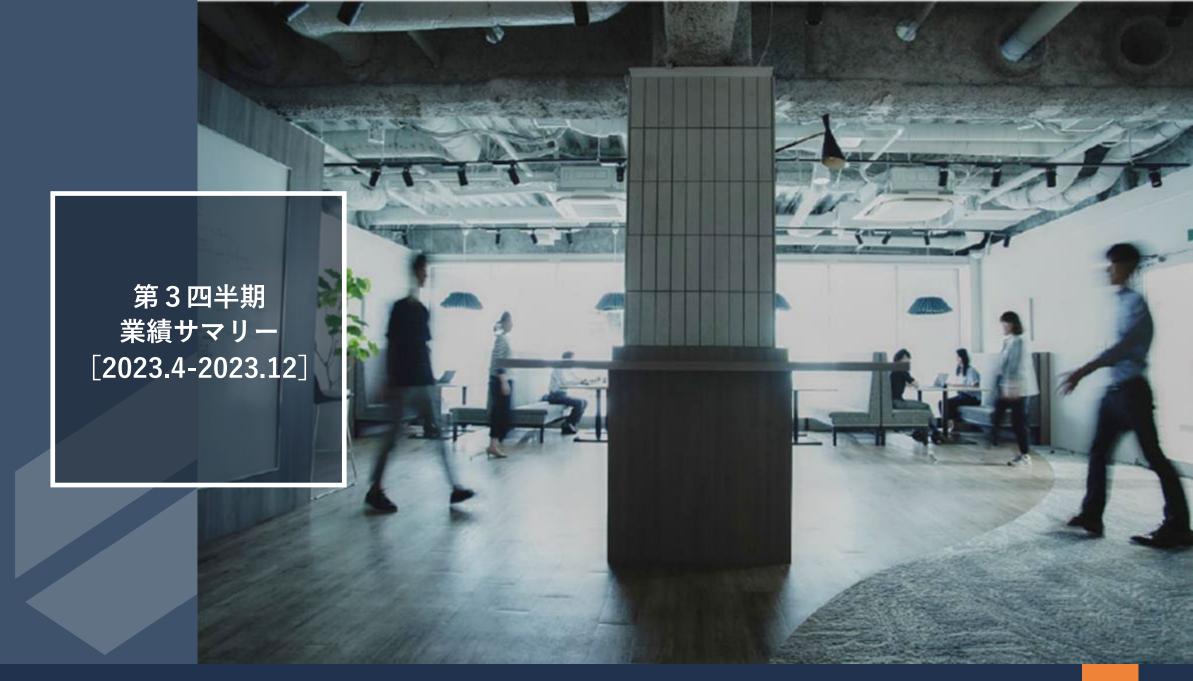
・注力サービスである「トライオート」を12月に大幅リニューアルを実施し、新たな取引画面ツール、新通貨ペアの追加等により、顧客の取引活性化及び利便性の向上に取り組みました。しかしながら、「マイメイト」にて、エージェント作成時の特徴量追加を行う等の機能改善を優先し、広告宣伝費の抑制状態が継続したこと等から、売上が伸び悩み「減収減益」となった。

#### ■ 海外金融事業

・シドニー、キプロスに続き、4月にはロンドンに現地法人を設立した他、東京にもオフィスを構える等、営業拠点を拡大したことから、24時間体制でのカスタマーサポートのサービス品質向上や顧客との対面機会が増加し、効果的な営業活動が可能となったこと等により取引が拡大。その結果、純営業収益・営業利益ともに大幅に上昇し「増収増益」となった。

#### その他のトピック

- ・株式会社アルカド:ライブ・動画・メッセージ機能等を搭載した実践的投資学習プラットフォーム「Fincs」をリリース。
- ・ファルク株式会社:AI技術を活用したスマートフォン特化型アプリの開発を事業内容とする新しい子会社を設立。



### 連結業績 | 第3四半期 | 2023.4 - 2023.12 (累計)

単位:百万円	2023年3月期 3Q(2022.4-2022.12)	2024年3月期 3Q (2023.4-2023.12)	対前年同期比増減率
営業収益	4,462	4,976	+11.5%
純営業収益 ※	4,110	4,417	+7.5%
営業利益 ※	249	309	+24.1%
経常利益	228	329	+44.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	106	190	+79.0%

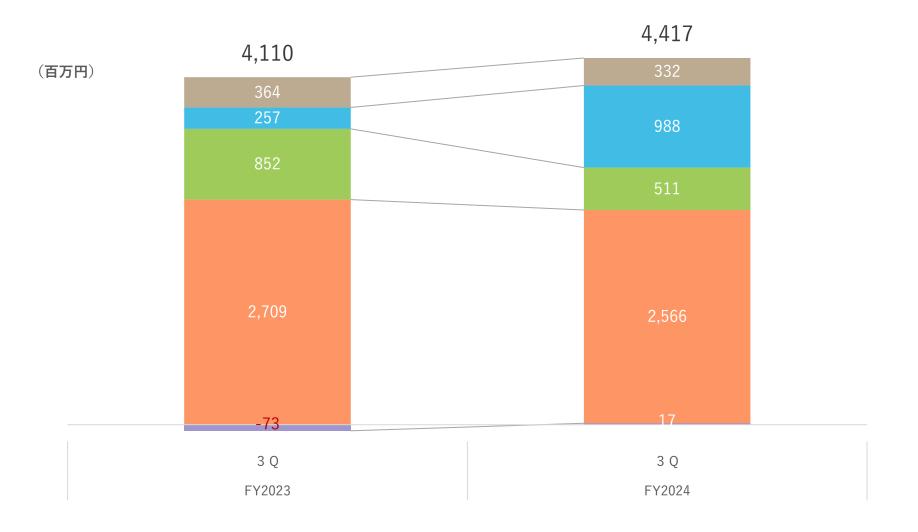
前連結会計年度において、「営業外収益」または「営業外費用」に計上しておりました「組合投資利益」及び「組合投資損失」を「営業収益」としての「組合投資利益」または「営業収益」より差し引く費用としての「組合投資損失」として計上する方法に変更しました。 この結果、前第3四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「組合投資損失」として表示していた73百万円は、「営業収益」より差し引く費用としての「組合投資損失」として組替えております。

### セグメント別業績 | 第3四半期 | 2023.4 - 2023.12 (累計)

単 位	:百万円	2023年3月期 3Q(2022.4-2022.12)	2024年3月期 3Q(2023.4-2023.12)	対前年同期比増減率
国内金融事業	純営業収益 ※	2,277	1,907	<b>△16.3%</b>
<b>冯</b> 内立熙争未	営業損益 ※	19	△84	-
海外金融事業	純営業収益	1,941	2,616	+34.7%
	営業利益	309	486	+57.1%

前連結会計年度において、「営業外収益」または「営業外費用」に計上しておりました「組合投資利益」及び「組合投資損失」を「営業収益」としての「組合投資利益」または「営業収益」より差し引く費用としての「組合投資損失」として計上する方法に変更しました。 この結果、前第3四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「組合投資損失」として表示していた73百万円は、「営業収益」より差し引く費用としての「組合投資損失」として組替えております。

### 純営業収益の内訳 | 第3四半期 | 2023.4 - 2023.12 (累計)



- その他の営業収益 前年同期比 △8.6%
- **金融収支** 前年同期比 +**283.3%**
- **受入手数料** 前年同期比 △**39.9%**
- トレーディング損益 前年同期比 △**5.3**%
- 組合投資損益

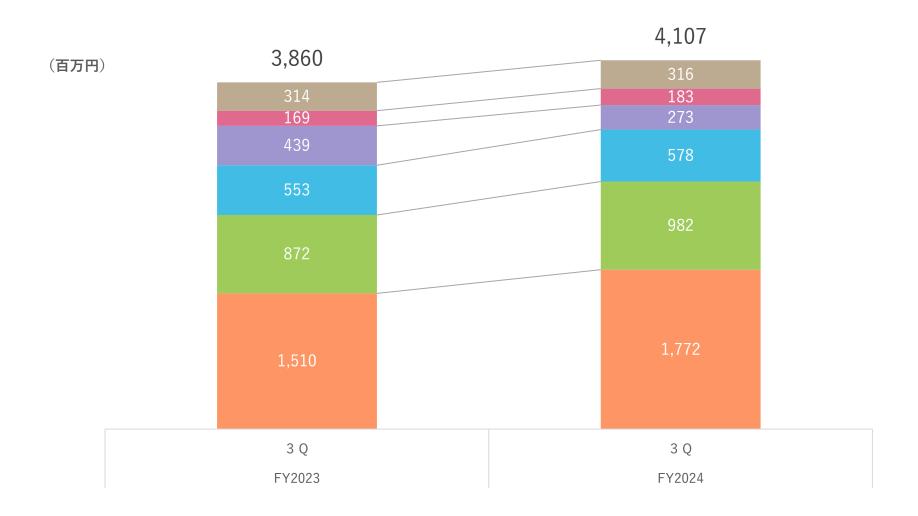
### 純営業収益 四半期毎の推移





※2022年3月期(FY2022)は表示の変更に伴う「組合投資損益の組み替え」は行っておりません。

### 販売費・一般管理費の内訳 | 第3四半期 | 2023.4 - 2023.12 (累計)

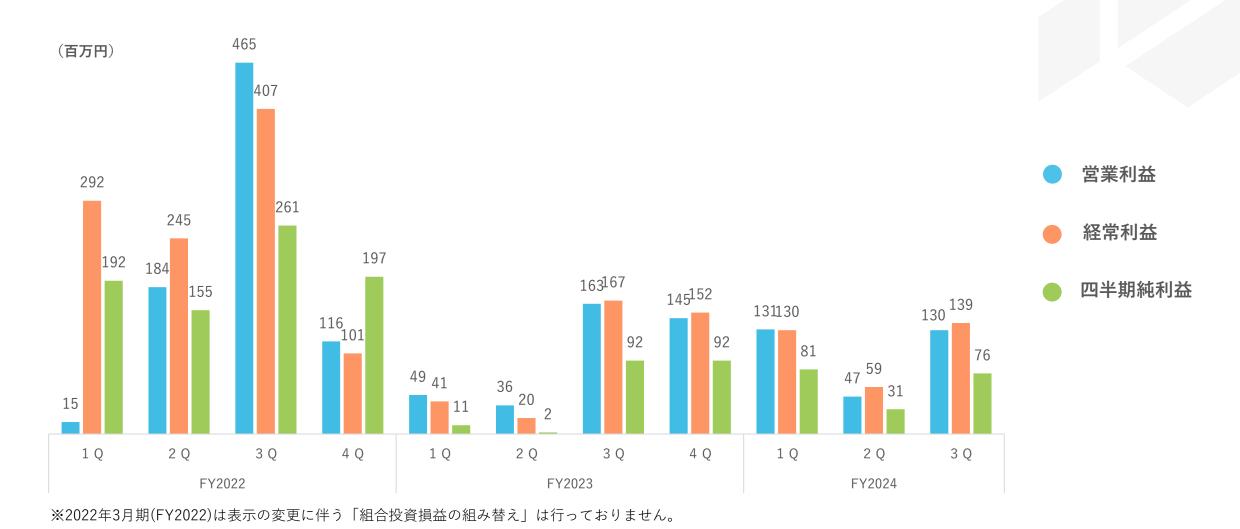


- **その他** 前年同期比 +**0.8%**
- **減価償却費** 前年同期比 +**8.5**%
- **広告宣伝費** 前年同期比 △**37.9%**
- **取引関係費** 前年同期比 + **4.6%**
- **器具備品費** 前年同期比 +**12.6**%
  - **人件費** 前年同期比 +**17.3%**

### 販売費・一般管理費 四半期毎の推移

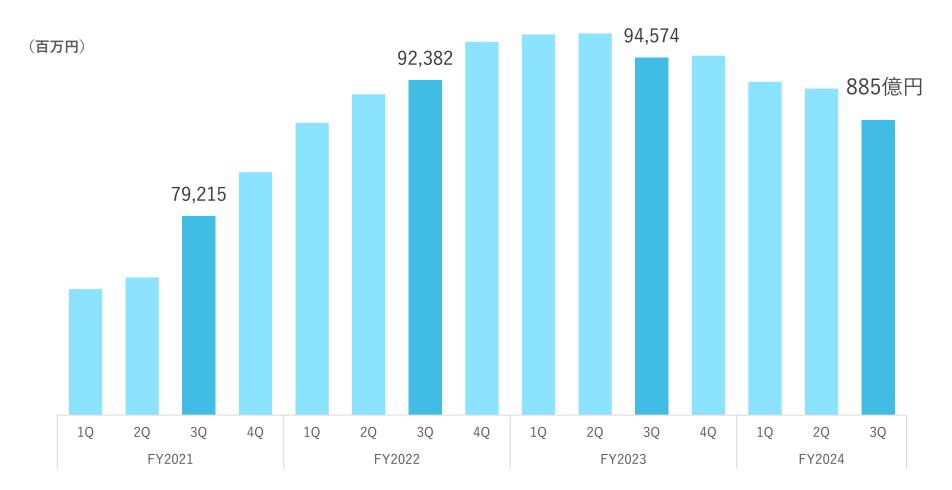


### 営業利益・経常利益・四半期純利益 四半期毎の推移



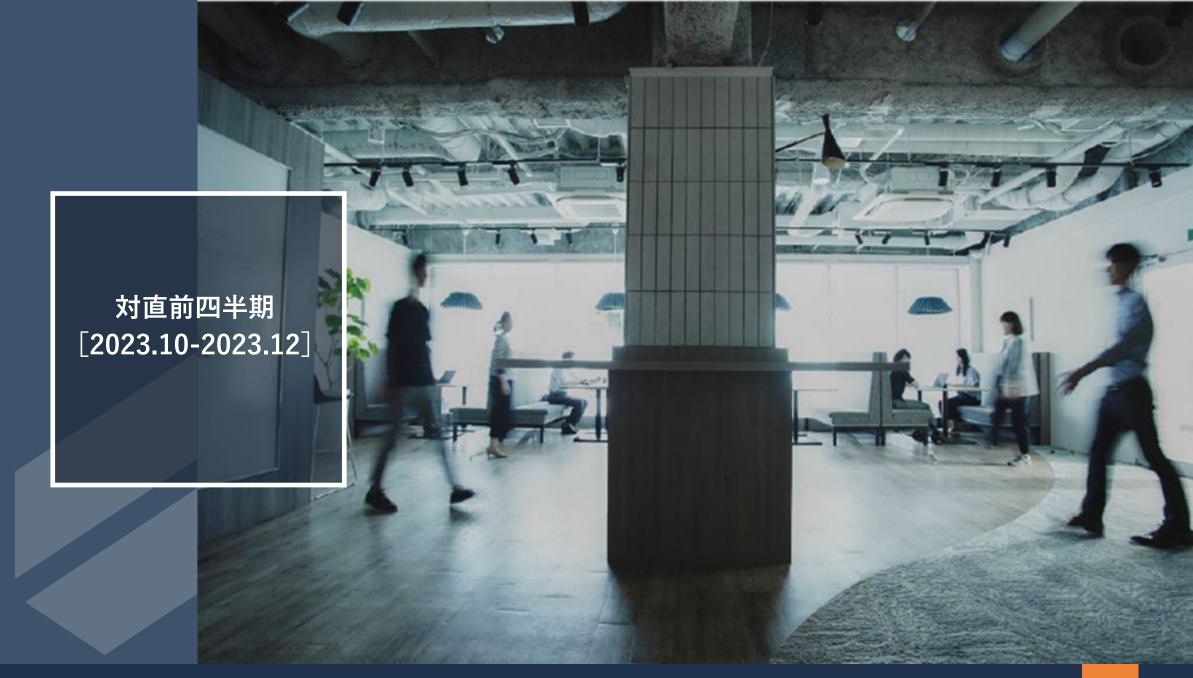
### 預り証拠金残高 四半期毎の推移

第3四半期の預り証拠金残高は前年同期比 △60億68百万円の885億6百万円となりました。



※連結海外子会社の決算日が12月31日 のため数値は3ヶ月前の値で試算

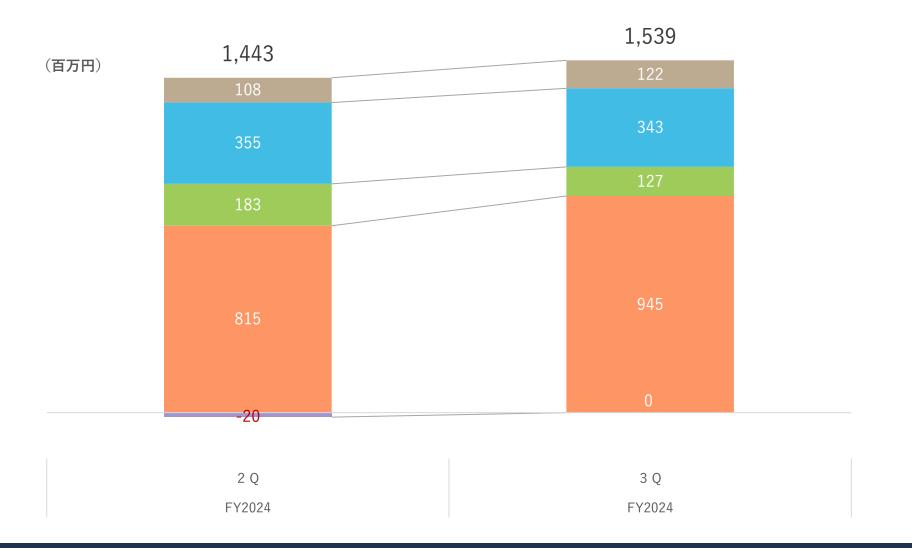
取引量は相場のボラティリティにより変動するため、「収益の源泉」であり「お客様からの信頼の証」となる預り証拠金残高は重要な指標となります。



## 連結業績 | 対直前四半期 | 2023.10 – 2023.12

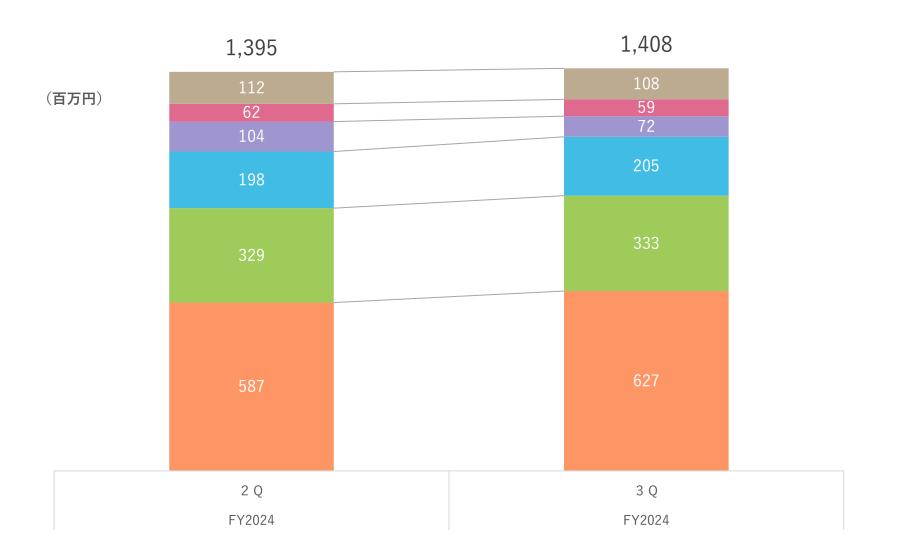
単位:百万円	2024年3月期 2Q(2023.7-2023.9)	2024年3月期 3Q (2023.10-2023.12)	対直前四半期比 増減率
営業収益	1,667	1,717	+3.0%
純営業収益	1,443	1,539	+6.6%
営業利益	47	130	+174.4%
経常利益	59	139	+135.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	31	76	+144.1%

### 純営業収益の内訳 | 対直前四半期 | 2023.10 - 2023.12

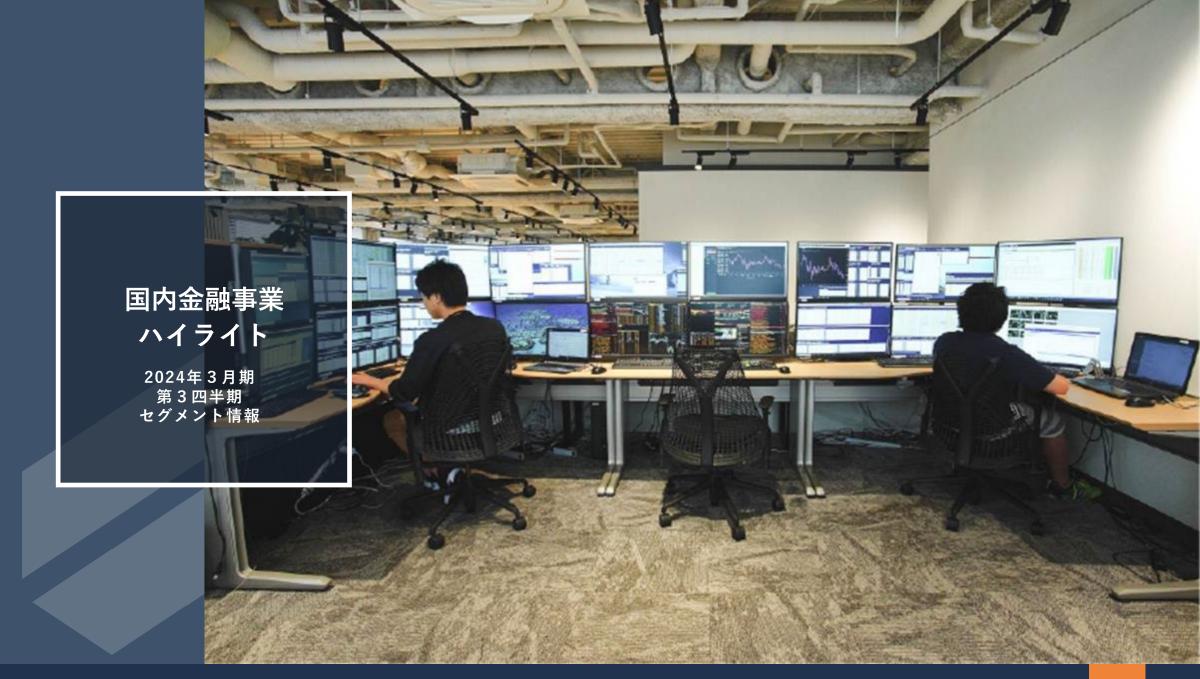


- その他の営業収益直前四半期比 +13.3%
- **受入手数料** 直前四半期比 △**30.8%**
- トレーディング損益 直前四半期比 +**15.9%**
- 組合投資損益

### 販売費・一般管理費の内訳|対直前四半期|2023.10 – 2023.12



- その他直前四半期比 △3.9%
- 減価償却費直前四半期比 △4.5%
- 広告宣伝費
  直前四半期比 △30.3%
- **取引関係費** 直前四半期比 + **3.8%**
- **人件費** 直前四半期比 + **6.8%**



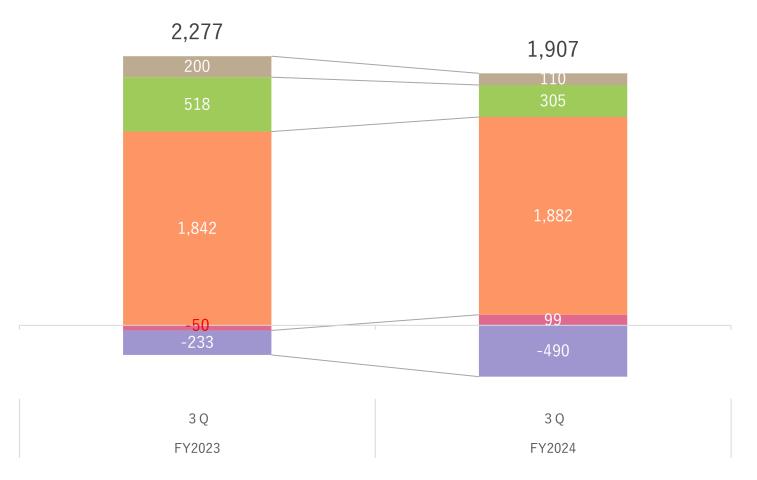
### セグメント業績サマリー | 第3四半期 | 2023.4 - 2023.12 (累計)

単位:百万円	2023年3月期 3Q(2022.4-2022.12)	2024年3月期 3Q (2023.4-2023.12)	対前年同期比増減率
純営業収益 ※	2,277	1,907	<b>△16.3%</b>
販売費・一般管理費	2,257	1,992	<b>△11.8%</b>
営業損益 ※	19	△84	-

前連結会計年度において、「営業外収益」または「営業外費用」に計上しておりました「組合投資利益」及び「組合投資損失」を「営業収益」としての「組合投資利益」または「営業収益」より差し引く費用としての「組合投資損失」として計上する方法に変更しました。 この結果、前第3四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「組合投資損失」として表示していた73百万円は、「営業収益」より差し引く費用としての「組合投資損失」として組替えております。

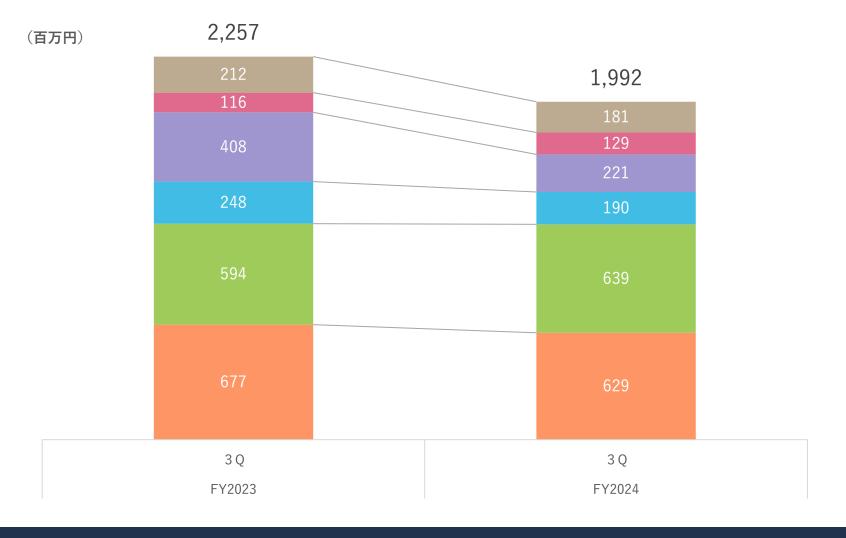
### 純営業収益の内訳|第3四半期|2023.4-2023.12 (累計)

#### (百万円)



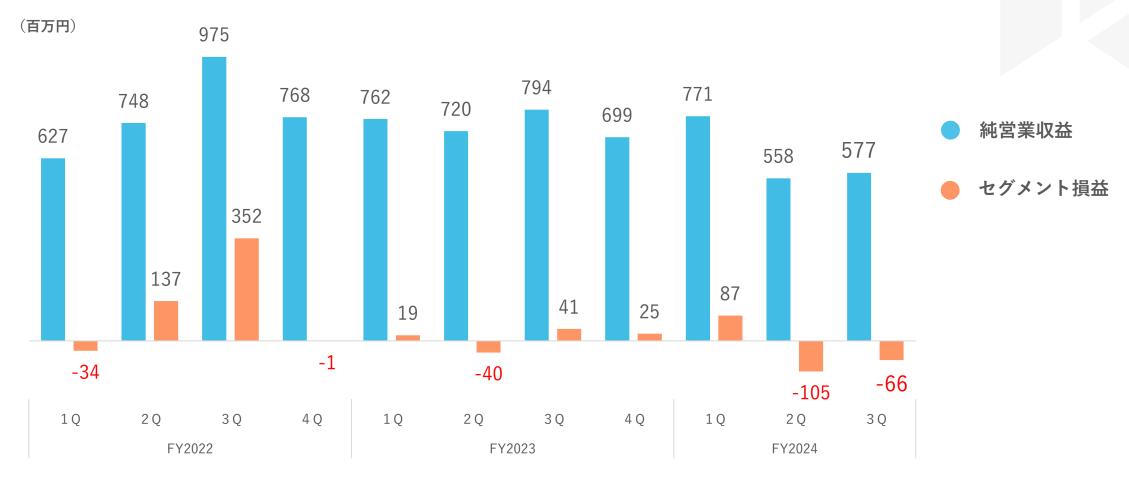
- その他営業収益 前年同期比 △45.0%
- **受入手数料** 前年同期比 △**41.0**%
- トレーディング損益等 前年同期比 +2.2%
- セグメント間収益・振替
- その他

### 販売費・一般管理費の内訳 | 第3四半期 | 2023.4 - 2023.12 (累計)



- その他 前年同期比 △**14.3%**
- **減価償却費** 前年同期比 +**10.9**%
- 広告宣伝費 前年同期比 △45.8%
- **取引関係費** 前年同期比 △**23.1%**
- **器具備品費** 前年同期比 +**7.5**%
- **人件費** 前年同期比 △**7.1%**

### 純営業収益・営業利益 四半期毎の推移



※2022年3月期(FY2022)は表示の変更に伴う「組合投資損益の組み替え」は行っておりません。

### 預り証拠金残高 四半期毎の推移と口座数

主力の店頭FXは前年同期比+12.1%と増加したが、店頭CFDが前年同期比△32.8%と減少したため、預り証拠金残高は前年同期比△90億円の750億63百万円となりました。

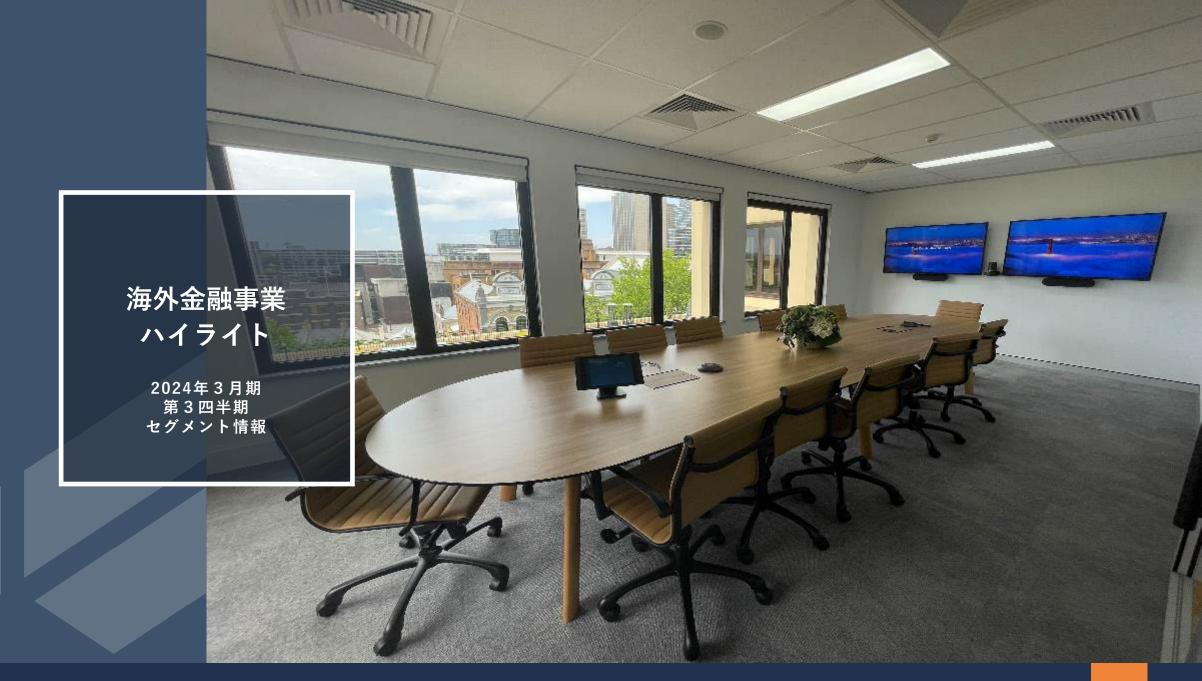


- 店頭FXトライオートFX・マイメイト
- **店頭CFD** トライオートETF
- **取引所FX** くりっく365

#### 国内口座数

52万4,613口座

※2023年12月31日時点 ※サービスごと集計

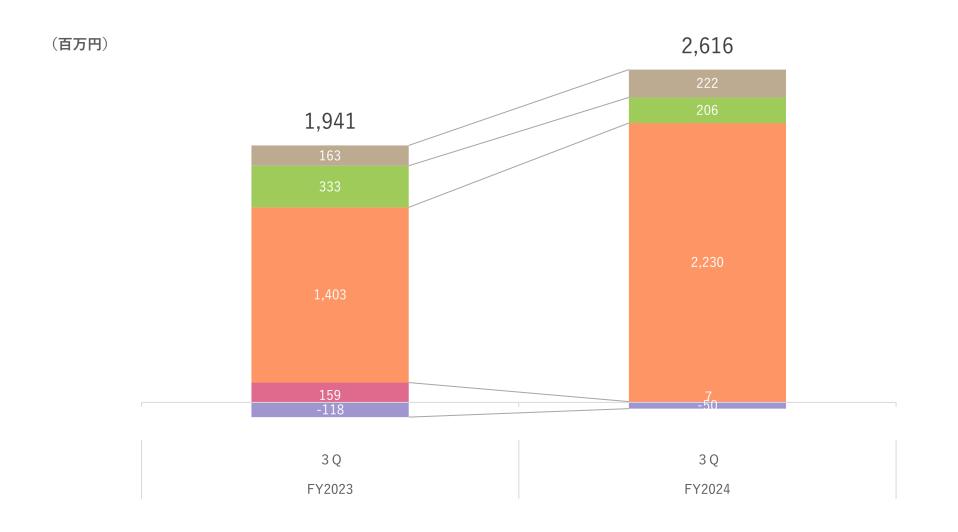


## セグメント業績サマリー | 第3四半期 | 2023.1 - 2023.9 (累計)

単位:百万円	2023年3月期 3Q (2022.1-9)	2024年3月期 3Q(2023.1-9)	対前年同期比増減率
純営業収益	1,941	2,616	+34.7%
販売費・一般管理費	1,632	2,130	+30.5%
営業利益	309	486	+57.1%

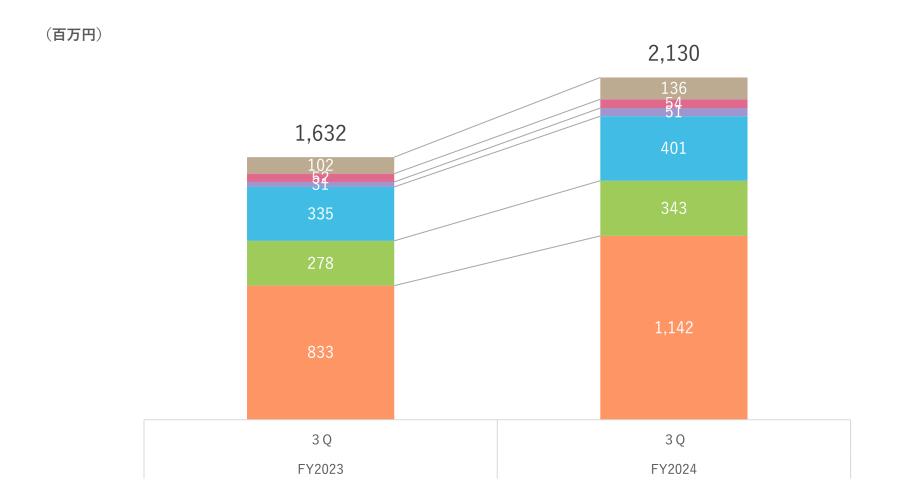
<sup>※</sup>海外金融事業は決算日が12月末日のため、2024年3月期は2023年1月1日~2023年12月31日となります。

### 純営業収益の内訳 | 第3四半期 | 2023.1 - 2023.9 (累計)



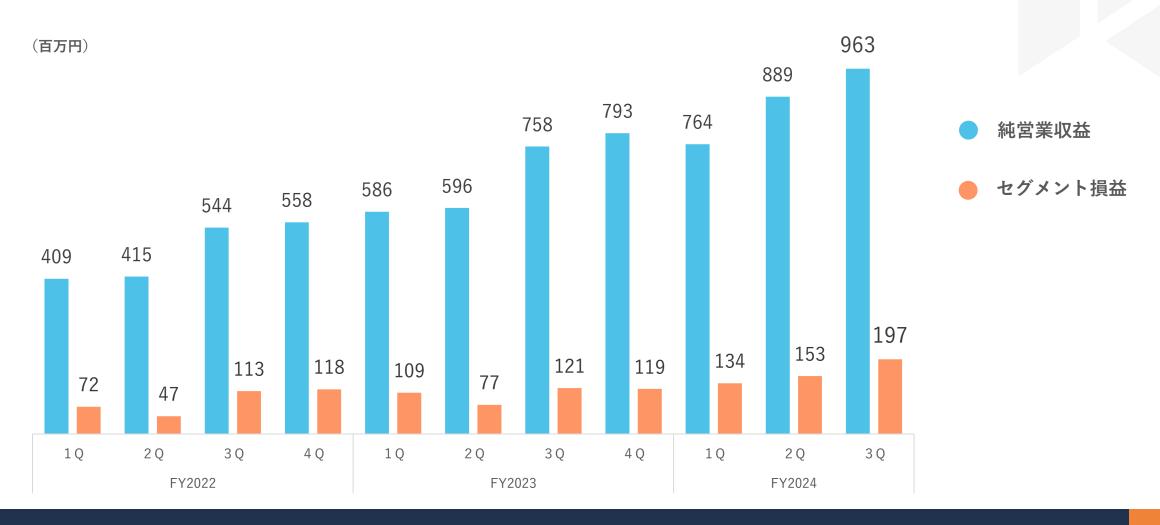
- その他営業収益 前年同期比 +36.0%
- **受入手数料** 前年同期比 △**38.3%**
- トレーディング損益等 前年同期比 +**59.0**%
- セグメント間収益・振替
- その他

### 販売費・一般管理費の内訳 | 第3四半期 | 2023.1 - 2023.9 (累計)



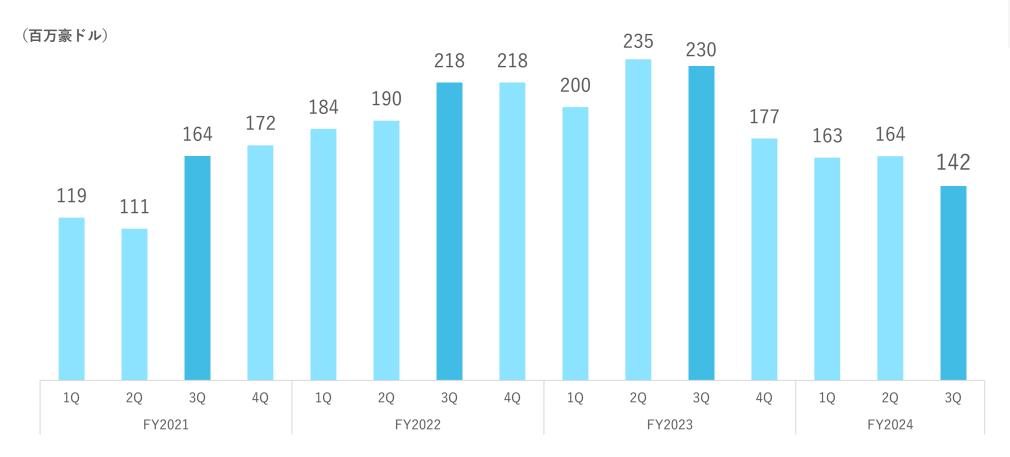
- **その他** 前年同期比 +**33.7%**
- **減価償却費** 前年同期比 +**3.2%**
- ★告宣伝費 前年同期比 +65.0%
- **取引関係費** 前年同期比 +**19.7**%
- **器具備品費** 前年同期比 +**23.6%**
- **人件費** 前年同期比 +**37.2%**

## 純営業収益・営業利益 四半期毎の推移

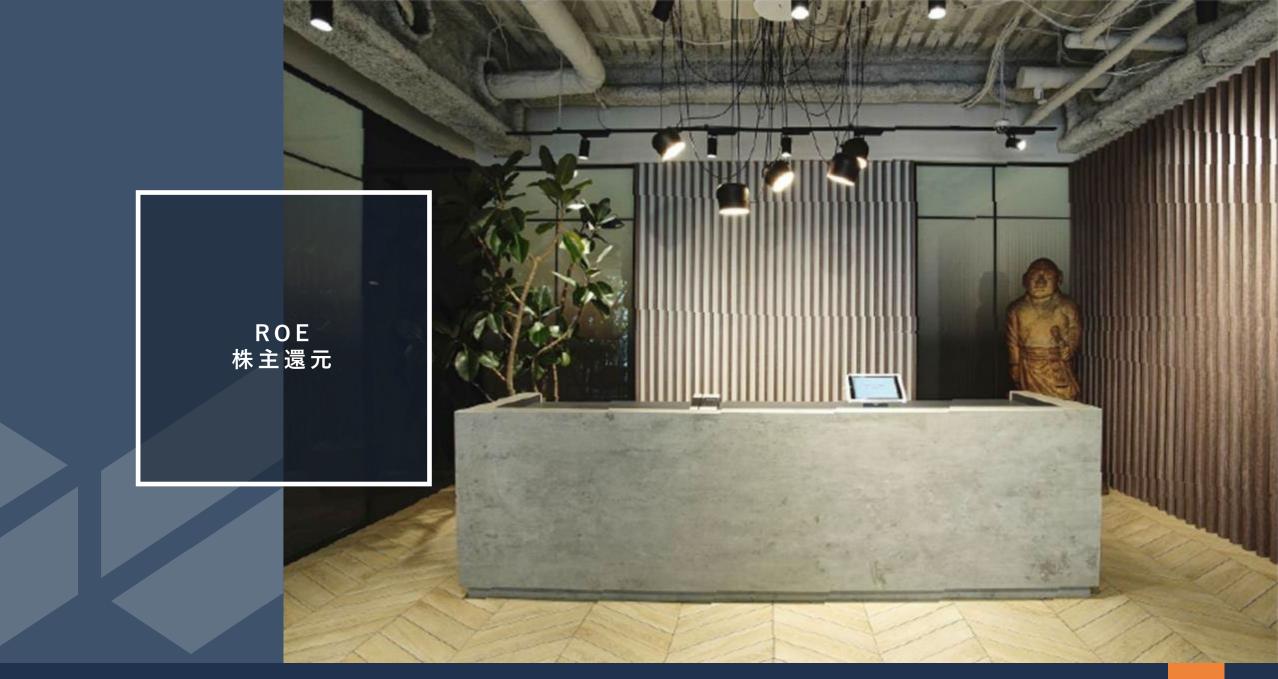


### 預り証拠金残高 四半期毎の推移

預り証拠金残高は前年同期比 △38.3% の 1億42百万豪ドル 減少の主な要因はインヴァスト証券とのグループ間取引による影響によるものです。

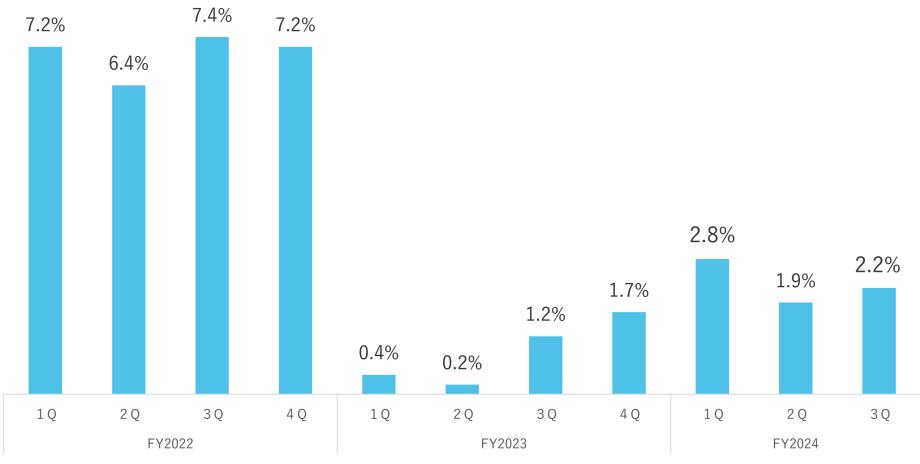


※海外金融事業は決算日が12月末日のため数値は3ヶ月前の値となり、第3四半期は2023年9月30日時点の預り証拠金残高となっています。



### 株主資本利益率 (ROE) 四半期毎の推移

#### 第3四半期の株主資本利益率(ROE)は 2.2%



※四半期ROEは四半期純利益の平均値を年換算して算出しております。例)第3四半期は(第3四半期純利益/3)×4

### 株主還元

#### 2024年3月期は1株あたり19円に配当予想を変更

#### 配当予想の変更について

2024年1月31日付プレスリリース

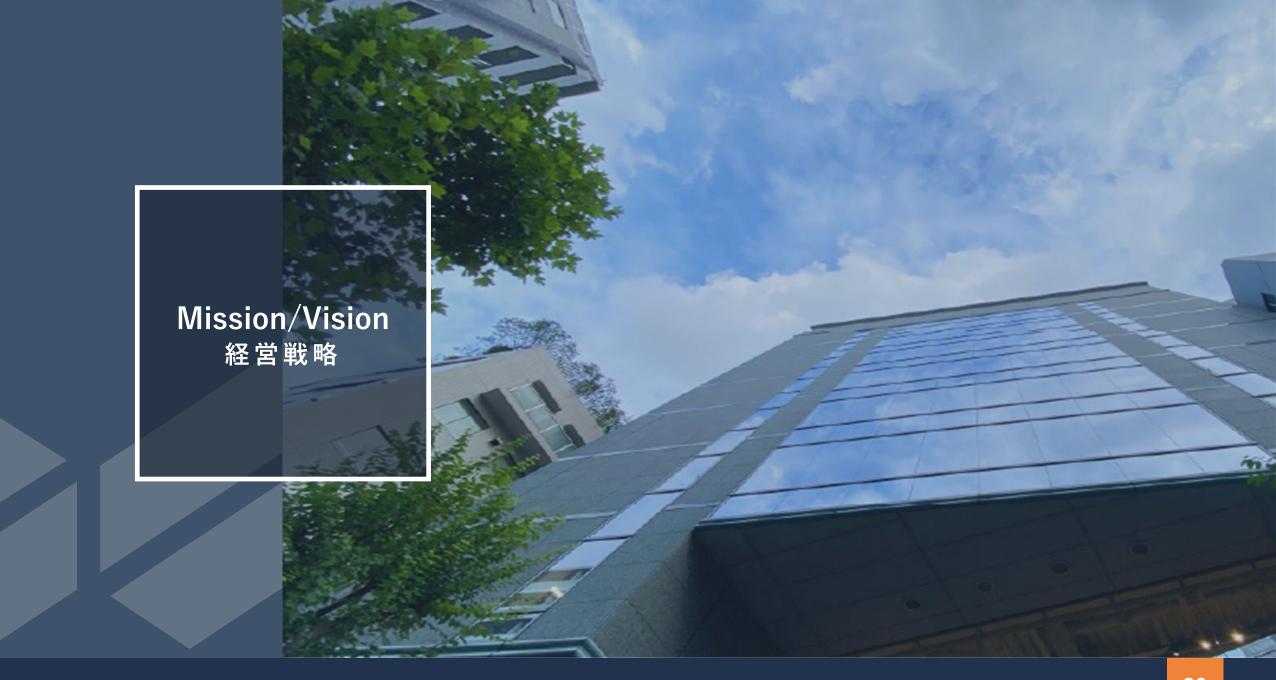
「剰余金の配当(無配)に関するお知らせ」をご確認ください。

注)今期の配当は予想であり保証するものではありません。

#### 配当実績と予想

決算期		2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3 月期
1株当たり 配当金額 (円)	中間	18.0	19.0	19.0
	期末	24.0	19.0	<b>0.0</b> (予想)
	合計	42.0	38.0	<b>19.0</b> (予想)
当期純利益(百万円)		808	199	
配当総額(百万円)		246	223	
配当性向		30.5%	112.2%	
ROE		7.2%	1.7%	
DOE		2.2%	1.9%	
配当利回り ※2		4.6%	5.0%	

※2:配当利回りは各年度末日の終値で算出



## **Mission**

存在する目的

#### 世界をもっと、良い場所にする

世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて世界を「もっと良い場所」にする。 私達の考える「もっと良い場所」とは、一生懸命働いている人が、ちゃんと豊かになれる世の中であり、優秀で、意欲のある学生が、お金を理由に未来の選択肢を諦めなくても良い世の中であり、

どんな人でも、幸せになる為の資産形成が出来る世の中です。

私達のミッションは、世界中の人々が、それぞれに想い描く人生設計において、金融面の課題を解決するソリューションを生み出すこと、挑戦する人をサポートし、より多くの人が人生を豊かにするためのチャンスをつかむ、お手伝いをすることです。

金融という側面から、世界中の人々の幸せを通じて、より良い世界の構築に貢献していきたいと考えております。

## **Vision**

目指す姿

# 2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出す

資産運用からスタートし、育児や教育、就職や結婚、資産形成など、世界中の人々の人生における様々な分野で、 金融面の課題を解決するソリューションの創造を目指します。

私達は、全世界から集まった優秀な人材が、日々、本物のプロフェッショナルとしての責任を果たしビジョン達成の為に議論し、決断を下し、実行に移す、世界中に顧客を持つグローバル企業になります。その第一歩として、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出します。

### STAGE3 [収穫期間] ビジョン達成に向けた経営戦略

STAGE

2017>>>2019年

既存事業の収益力向上 新規事業の創出 STAGE

2020>>>2022年

事業の継続的成長 グループシナジーの追求 STAGE

2023>>>2025年

全世界で1,000万人の利用者を持つ グローバル企業へ

投資期間

育成期間

収穫期間

経営戦略 (STAGE 3:2023年(2024年3月期)>>>2025年(2026年3月期))

1 1,000万人ユーザー獲得

- ・新規事業開発に特化した子会社「株式会社アルカド」を通じた新プロダクト、新サービスの導入
- ▶ ・M&Aを通じたグローバルユーザー数の拡大
  - ・主力事業強化によるユーザー数の拡大

ク 事業の継続的成長

- ・国内金融事業:マイメイトの主力事業化、トライオートの改善や拡大の継続、取引システム全面刷新による収益性の向上
- ▶ ・海外金融事業:キプロス、イギリスに続く地理的拡大の更なる推進および成長資金の調達
  - ・リスク管理強化:世界金融市場の激変にも耐えうるリスク管理体制の整備と強化

## 会社概要



会社名	インヴァスト株式会社 (英語名 INV Inc.)
住所	東京都中央区東日本橋一丁目5番6号
代表者名	代表取締役社長 川路 猛
設立日	2020年10月1日
資本金	5 億円
事業内容	グループ会社の経営管理および新規事業開発
主要な子会社	インヴァスト証券株式会社、26 Degrees Global Markets Pty Ltd.
証券コード	東京証券取引所 スタンダード 7338

#### 免責事項

本資料に掲載されている情報は、当社グループの事業の情報提供を目的としたものであり、 投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれています。 将来の見通しに関する記述には、様々なリスクや不確定要因が伴うため、 現実の結果が将来の見通しに関する記述に含まれる内容または将来の見通しに関する記述で 示唆されている内容と大きく変わる可能性があります。

本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、 その時点で提供可能な情報であり、その完全性、正確性、適用性、有用性等いかなる保証も行っておりません。

掲載された情報に基づく判断については、利用者の責任のもとに行うこととし、 当社はこれにかかわる一切の責任を負うものではありません。